

令和元年度授業改善推進プラン【2年生】

教科	児童の課題	具体的な改善のための方策
国語	<p>△想像しながら読むことを楽しめる児童が多い一方、登場人物の気持ちを汲み取れない児童がいる。</p> <p>△漢字の学習は好きな児童が多いが、定着に時間がかかる。</p> <p>△助詞や促音を正しく使って書くことができない児童が多い。</p> <p>△大事なことを落とさずに聞くことができない児童が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 物語文では動作化をして登場人物の心情を理解させる。 • 漢字は、画数、部首、組み立てを意識して指導し、自ら既習の漢字を活用できるようにする。 • 文中にある「は、を、へ」について、文の前後から関連させて正確に理解し、活用できるよう繰り返し指導する。 • 一方的に授業者が話をするのではなく、黒板にキーワードを書き視覚にもうたえて集中して聞くことができるようにさせる。
算数	<p>△初めて取り組むことには、時間を必要とする児童が多い。</p> <p>△文章問題の内容を理解できずに、立式ができない児童や見直しをしても間違いに気付けない児童が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 毎時間、練習問題を多く解くよりも自力解決する時間を設けることによって、考える時間を確保する。 • ペアやグループによる学びあいの活動を大切にする。それでも理解が難しい児童には、個別に丁寧に指導する。
生活科	<p>△野菜の世話については、初めは意欲的に取り組んでいたが、継続した世話が難しい児童もいた。</p> <p>△身の回りの環境や自分自身の成長に対して、気付ける児童が少ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 児童の願いを生かし、校庭、畑、校外と活動の場にふさわしい場を設定する。 • 前学期の児童の様子を具体的に客観的に児童に伝え、気が付くことができるようにする。
音楽	<p>△技能面で、鍵盤ハーモニカを演奏することに対して苦手意識をもっている児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 音符に親しむことができるように基本的な奏法を丁寧に指導し、できることから少しずつ段階をふんで練習させ、技能向上を図る。
図工	<p>△道具の正しい扱い方に慣れていない児童が多い。</p> <p>△発想が広がらず、周りと同じ作品になってしまう児童が少なくない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 説明は図を多く用いたり、分かりやすく板書したりするとともに示範することで、正しい道具の扱い方を指導する。 • 適宜一人一人の児童に合わせ、できることから少しずつ段階をふんで発想を広げられるように声かけをする。
体育	<p>△集団で学ぶための授業規律が定着していない児童がいる。</p> <p>△勝敗に対する受け入れが十分ではない児童がいる。そのため、ゲームを楽しめないで終わることがある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • どの児童もすぐに行動できるように明確で短い指示をする。 • 児童の実態に応じた課題を明確に設定し、問題解決学習で運動のコツを理解させる。

